

**長崎ウーマンズ・ウォークラリー実行委員会**

長崎市

代表者 竹中 晴美 (たけなか はるみ)

- 結成年月／昭和61年11月
- 活動期間／36年間



中国総領事と (右から  
2人目が竹中氏)

**活動のプロフィール**

「女性の目から見た長崎再発見」をテーマに、「女性による女性のためのまち歩き」として立案。長崎の“まちなか”に息づく歴史や文化をたずね歩く「まち歩きイベント」の開催のほか、長崎の歴史と伝統を活かした新しいスイーツの開発など、地域の人々を巻き込んで幅広い分野での活動を行っている。

まち歩きを通して長崎のまちの歴史・文化・魅力の再発見に尽力し同市のまちづくり及び地域振興に多大な貢献を果たしている。



記念すべき第1回目の参加者の様子(1986年)



第35回長崎ウーマンズ・ウォークラリー (2022年)

**【活動への思いや今後の抱負】**

「自分のまちを歩いて何が面白いの?」「男子禁制って、差別じゃないの?」いろいろな世間の風をうけながら「女性が主役のまち歩き」は、「まち歩き」の原点となりました。36年間、同じコースが全くないのは、長崎が誇る歴史と文化、人がいるから。ピンクのポスターでお馴染み、今では長崎の秋の風物詩。今春、開発した長崎らしい新しい伝統のスイーツ「伝来物」は、新たな一歩となりました。